令和５年　５月３１日　　台　東　育　英

台東育英

Ｎｏ．３

台東区立台東育英小学校

統括校長　瀬下　清

http://www.taitocity.net/taitouikuei-s/

子供たちが主体的に学ぶ場に

統括校長　　瀬下　清

美しい紫陽花の花に心安らぐ季節となってきました。児童の校帽も白色に変わり、夏が近づいていることを感じます。

先日は、低・中・高学年ごとに遠足に出かけることができました。自然豊かな中で伸び伸びと楽しそうに遊ぶ子供たちの姿を見て、とても嬉しくなりました。学級や学年の友達同士の絆を深める機会になったことだと思います。また、駅へ向かう道路の歩き方、電車でのマナーなど、公共の場での態度を学ぶことのできるとても良い機会でもありました。学校の中だけでは学ぶことのできない生きる力を身に付けることができました。

さて、今年に入り、世界の七不思議の一つであるエジプトの大ピラミッドに、新たな大発見が発表されました。それは、宇宙の素粒子を使った調査で、大ピラミッドの内部に新たな空間が見つかったのです。大ピラミッドは、４５００年もの歳月を超え、なぜ崩れず、堂々とそびえ立っているのでしょうか。私が子供の頃に見た百科事典には、鞭で叩かれながら苦しそうに働かされている人々たちが、ピラミッドを建設している様子として描かれていました。それ以来、ピラミッドは、強制的に働かされた人々が作ったものであると信じていました。

ところが、現代、最高峰の考古学者の中では、全くこれまでと違った考えになっています。大ピラミッドを建設した人々は、決して無理やり働かされながら建設したのではなく、熱い情熱をもって、緻密な計算で計画され、長い時間をかけて一生懸命に心を込めて作ったものであるからこそ、今もなお、堂々とそびえ立っているのではないかと。

子供たちの教育にも通じるものを感じます。それは、子供たちの学びの姿勢も主体的であることが大切であるということです。自らの意欲で、時間をかけながら、一生懸命に学んでいく中で、本物の学力が身に付いていけるのだと考えます。そのためには、学校教育で求められている「主体的、対話的で深い学び」を授業の中で実現に努めていかなければなりません。

子供たち一人一人の意欲を高めながら、ピラミッドのように崩れることのない学力の定着を図っていくことを目指していきます。

「今、生きていて良かった」～学びのキャンパス台東～

副校長　大迫　利江

〈地中の水道管を初めて
見て驚く4年生〉

先日、４年生と共に、おかず横丁へライフライン水道耐震化工事の見学へ出かけました。地中に埋まった大地震にも耐えられる水道管を見たり、はずれない工夫の施された部品に触ってみたりすることができました。ある子が帰り道に「今、生きていて良かった」と言うほど、「５０年に一度の工事」を見られたことは何事にも得がたい経験になりました。

さて、台東区教育委員会では「台東区学校教育ビジョン」に示した『ひとづくり』を目指して「学びのキャンパス台東　アクションプラン」があります。まちを学びのキャンパスとして１３０以上のプランがあり、公共施設や民間企業等と手をつなぎ子どもたちへ出前授業をしてくれます。実物に触れること、関わっている人との出会いにより、普段の授業で学んだことが深く掘り下げられます。今回の見学はアクションプラン内ではありませんが、これからも多くの本物に触れさせていきます。

本にふれあう楽しさ

図書担当　渡邉　香織

「この間、友達が読んでいて読みたかったんだ！」「この動物の特徴は…」「〇〇シリーズの本がおすすめだよ」「見ているだけで楽しい気分になるよ」

学校図書館で本を借りた後の子供たちの反応です。また、自分の興味をもった本の話になると、熱心に説明をしてくれ、よく読みこんでいるな、と感心します。

本を読むことで育てられる力としては、語彙力や知識量を増やしたり、読解力を伸ばせたりと様々なものが挙げられます。学校図書館には、沢山の本があります。その中から、「また、読みたいな。」「友達に紹介したいな。」という本を見つけて読書の楽しさを広げてほしいと思っています。まずは子供たちに「本が好き！読書は楽しい！」と心から感じてもらいたいと思います。

６月５日から３週間、読書旬間があります。読書旬間期間中には、図書委員会の児童が低学年の子供たちに読み聞かせをする日もあります。朝学習の時間にも可能な限り読書を行います。読書旬間は、子供がより多くの本と出会うよい機会です。ぜひご家庭でも読み聞かせや一緒に読書を楽しむ時間をつくってもらいたいと。ご協力よろしくお願いします。

読 書 旬 間　　６月５日（月）～６月２３日（金）

生き物を育てる

３年担任　藤井　泰宏　鈴木　祐衣子

３年生に進級して、２か月が経ちました。３年生から始まった理科では、昆虫の育ち方を観察するためにアゲハチョウを、植物の育ち方を観察するためにヒマワリ、ホウセンカ、ダイズ、オクラを育てています。

アゲハチョウは、学校にある夏ミカンの葉っぱを毎日あげて、とてもかわいがりながら育てました。葉っぱを食べている姿や、動いている姿、さなぎになった様子など、逐一担任に報告しに来るほど、子供たちはアゲハチョウのことを大切に育てていました。そして、さなぎが羽化し、見事なアゲハチョウになったときの子供たちの笑顔はとても輝いていました。成虫となったアゲハチョウは、外に放ち、子供たち全員で見送りました。

ヒマワリやホウセンカなどの植物は、当番が毎日水やりをしています。数日経つと、芽が出てきて、子供たちは大喜びです。これからどんどんと成長していく植物に興味津々で、子供たちは楽しみながら学習に取り組んでいます。

今回の理科の学習を通して、昆虫や植物の育ち方を学ぶだけでなく、生き物を育てる心情が養われたと思います。身近にいる動植物を大切に、これからも自然を大切にする心情を育てていきたいと思います。

５年生の取組

５年担任　髙橋　芳絵　伊野瀬　幸　赤堀　美喜夫

台東区では、５年生だけが参加できるビーチボール大会があります。そこで、５月にビーチボールバレーの学習を学年合同で行い、ルールを学びました。

霧ヶ峰移動教室では、クラス対抗試合を行います。みんなその日をとても楽しみにして、練習に励んでいます。

また、宿泊学習に向けて、総合的な学習の時間には、タブレットを活用して調べ学習を行ったり、各係に分かれて準備を進めたりしています。

５月１９日（金）に、遠足がありました。フィールドアスレチックありのみコースに行きました。スリル満点の空中散歩や水上いかだ渡りなどに挑戦し、大自然の中で思い切り汗をかいていました。

友達と行動を共にする中で、協力して規律を守る姿、思いやりをもって声を掛ける姿が見られました。公共機関を利用する際には、マナーを守ることができ、立派でした。ここでの学びを、霧ヶ峰移動教室にもつなげていきたいです。

６月１日(木) から、衣替えです。校帽を白い帽子に変えて登校しましょう。